

PLAN(計画)

自己評価

事務事業番号	13
--------	----

事業区分	一般ソフト事業	事務事業評価の履歴 無					
事務事業名	健康をテーマとした体験交流事業						
予算科目	款 項 目						
予算事業名	生活習慣病対策費						
総合計画での位置づけ	健康管理・意識を高める						
担当課	健康福祉課	担当課長	物袋 由美子				
事業担当者	實藤 愛梨	一次評価者	持松 可奈子				
事業の性格	選択してください						
法令根拠等	-						
事業の対象	住民、町外者						
事業の目的	定住に向けた新しい人の流れをつくるため、町外者や住民が健康なまちの魅力を体験し、町の良さを知ってもらう機会とする。						
実施期間	開始年度	平成 28 年度から					
	終了年度	平成 31 年度まで					
事業の内容	①ITを使った健康づくりサービスの開発 ②健康メニューの開発 ③ひさやま健康セミナーやウォーキングなど健康づくりイベントの充実						
目的達成の指標	事業開発件数						
	区分	年度	単位	27 年度	28 年度	29 年度	30年度
	目 標	件		0	3	3	3
実 績	件		0	0			
指標設定の考え方	多くの方が体験できる機会があるように、町内向けの事業と町外向けの事業また両者向けの事業を開発するようにした。						
事業遂行時懸案事項等	①アプリの開発に向けて、九州大学とDeNAと協議をおこなう。 ②久山産の野菜を使用するというので、生産されている野菜の把握をすることと、協力団体のめぼしをつける。健康メニューを提供できる場所・方法の検討。 ③上久原のかかし祭りと同時に行う為、かかし祭りとの調整が必要。 また、町内外へ周知するためにPR方法についても検討が必要である。 健康セミナーについては、現在町内向けに実施しており、内容や今後町外者参加の検討が必要である。						
事業実施時懸案事項対応等	①平成30年度の稼働に向けて協議を行い、内容の検討やデータの受け渡しの条件について等を検討している。 ②H28年度は、食フェスタで中村学園大学・農産加工グループ縁家さんと連携し久山産の野菜をつかったメニューを出品。 ③かかしウォーキングでは、かかし祭りの会場を経路に加えた。西日本新聞に広告を掲載してもらい、町外からの来場者も多く集まった。 健康セミナーの内容については健診や研究で分かったことを、九大や関係機関と協議し決定した。町外者の参加については今後協議し決定する。 認知症フォーラムを実施し、西日本新聞に記事を掲載してもらい町内外から参加者を募った。						

# PLAN(計画)

## 事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 89 円  
 ※負担額には国費・県費は含まれていません(千円)

項 目		27 年度予算	28 年度予算	29 年度予算	30 年度予算
事務量	① 人工数		0.10	0.10	0.20
	② 人件費単価	6,701	7,289	7,381	7,381
	③ 補助事業人件費		0	0	0
	人件費(①×②-③)	0	728	738	1,476
事業費	直接事業費		75	75	75
	人件費	0	728	738	1,476
	合 計	0	803	813	1,551
財源内訳	国庫支出金		0	0	0
	県支出金		50	0	0
	地方債		0	0	0
	その他		8	8	8
	一般財源	0	745	805	1,543
	合 計	0	803	813	1,551

## 事業費計画

(千円)

区分/年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
目 標		75	75	75	75
実 績		59			

## 事業活動の実績(活動指標)

項目	単位	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度
①開発に向けた協議の件数	件			4	4
②関連したイベントの件数	件			1	1
③イベントの件数	件			3	3
③かかしウォーキング参加	人			104	110
③健康セミナー参加者	人			26	50
③認知症予防フォーラム	人			108	110

# DO(実施)

## 事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 79 円  
 ※負担額には国費・県費は含まれていません(千円)

項 目		27 年度決算	28 年度予算	28 年度決算	
事務量	① 人工数		0.10	0.10	
	② 人件費単価	6,701	7,289	6,768	
	③ 補助事業人件費		0	0	
	人件費(①×②-③)	0	728	676	
事業費	直接事業費		75	59	
	人件費	0	728	676	
	合 計	0	803	735	
財源内訳	国庫支出金		0	0	
	県支出金		50	50	
	地方債		0	0	
	その他		8	7	
	一般財源	0	745	679	
	合 計	0	803	735	

## 実施備忘録

--

自己評価	評価者	實藤 愛梨
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。  
5 大 ←→ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	3	B
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	3	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	3	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	5	
2. 町が実施する必要があるか？	<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。	
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	2	C
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	3	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	3	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	3	C
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	3	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	3	
②効率性		
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	3	C
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	2	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	3	
③公平性・透明性		
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	2	C
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	3	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	4	

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了



見直しの具体的内容
<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

#### 4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

①②についてはまだ計画実施途中である。③については現在実施しているが、他のイベントとの連携や広報については検討が必要であるとする。どの事業も必要最低限の事業というよりは町の魅力を深める事業であるため、緊急性という観点では低いと考えられるが、町の将来を考えていく上での総合戦略のアクションプランとなっているので、計画的に実行していく必要がある。  
効果的なやり方で、予算についても負担にならないような方法を検討していこうと思う。

#### 5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

①については、関係団体との協議を重ね平成30年度には実施開始できるよう進めていきたい。  
②については、イベントのみでの提供よりは、食堂などで継続的に提供できるほうが望ましいと考える。農産物や提供場所の検討が必要になるため、田園都市課や町内飲食店のヒアリングやプロジェクトチームとの連携を行っていきたい。  
③については、かかしウォーキングはかかし祭りとの関連性を深め、参加しやすく集客もできるように検討していきたい。健康セミナーは、より多くの町民特に若い世代に参加して欲しいという思いがあるため、ターゲットに来てもらえるような周知方法や内容を検討していく必要があると考える。認知症予防フォーラムについては包括支援センターと実施について検討をおこなう。

# CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

一次評価	評価者	持松 可奈子
------	-----	--------

5段階評価で評点を付けます。  
5 大 ↔ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	3	B
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	3	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	3	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		C
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	3	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	3	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	3	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	3	C
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	3	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	3	
②効率性		
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	3	C
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	2	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	3	
③公平性・透明性		
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	3	B
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	3	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	4	

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了



見直しの具体的内容
<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

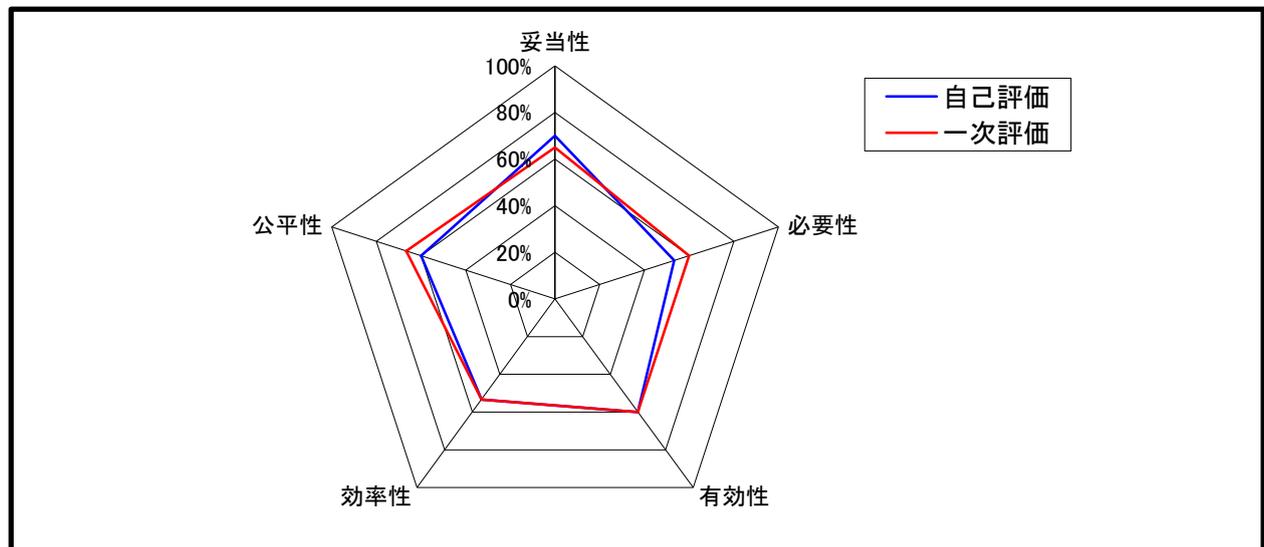
一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

総合戦略アクションプランの基本目標「久山町への新しい人の流れをつくる」に定めているが、定住を促進するための健康のまちの魅力を発信するために、町の強みである「健康」をテーマにした事業の充実が必要である。

28年度から試行的にウォーキングイベントを広域にPRしており、参加者の半数は町外の参加であり、参加者の反応もよかった。

住民の方を対象とした健康づくり事業をまず優先して実施するとともに、町外へのPRとなる事業について他課との協議もふまえてすすめていく必要がある。

自己評価・一次評価の傾向



二次評価	評価者	物袋 由美子
------	-----	--------

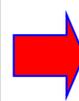
- 一次評価結果により、以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を進める。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断する。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。

久山町の魅力である「健康」をテーマにした事業を町外に対しても周知・アピールすることで、久山町への新しい人の流れを作ることができる。内容については、住民の健康増進にもなる内容を検討しているが、周知方法や予算、町外者にとっても参加しやすく魅力的な内容にしていく等が課題であり、今後も検討が必要である。

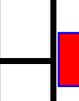
- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。



一次評価をやり直し、  
月 日  
までに事務局へ提出すること。

- 住民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを外部評価委員会に諮ることとする。

- 一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。



外部評価委員会で評価する。  
月 日  
開催予定

- 一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

評価終了  
 外部評価へ

**事務事業の改善案**

手段	二次評価と外部評価、経営者評価の結果をもとに、事業の目的に沿った内容にするために成果指標及び活動指標の内容の変更を行ったところ、成果指標が異なることから、平成29年度より事務事業評価を①、②、③でそれぞれ分けて目標設定、評価を行う。
内容	<p>①健康アプリを利用することで、楽しみながらライフログによるセルフケアを実践し、個人の健康増進をはかり健康意識を向上させることができると考える。全住民の健康度をあげるという目標に向かって、初年度は健診受診者のセルフケアの促進、若い世代や健診未受診者への普及を目標に周知活動やインセンティブの検討を行う。更に、町外に対しても取組をPRしていく。</p> <p>②健康メニューの開発については、平成31年度中の飲食店での久山レシピ採用2件を目標とする。平成30年度は、その準備段階として「後世に残したい郷土料理」や「我が家の自慢料理」などを公募してそのメニューを組み込んだ調理実習を行う。</p> <p>③健康づくりイベントについては、かかしウォーキングを久山町の魅力である「人・土地・社会の健康」を体験できるものと位置づけ、ウォーキング時に久山の食の振る舞いやライブラー事業の周知PRも合わせて行う。また、健康アプリの利用により継続性のあるイベントにすることで、普段の運動習慣に結びつくようにしていきたい。健康セミナーに関してはライブラーとの連携を進め、対象者の興味を引くような内容にしていく。また新聞やSNSなどを利用して町内外へさらに広く周知活動を行う。</p>

## 外部評価

<b>今後の方向性</b> <input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 現状のまま維持 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	<b>見直しの具体的内容</b> <input checked="" type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他	<b>評価</b> <b>B</b>

## 外部評価委員の意見

全体的に多くのことをやりすぎているような気がするが、実施されれば非常に良い効果をもたらすと思う。関係各課とも協力して事業を進めてもらいたい。中でも健康アプリの開発については若年層に対する町の魅力発信の方法として適していると思われるため、是非進めてもらいたい。健康メニューの開発については、食堂での久山レシピの採用件数、食堂での販売を指標とすることを検討されたい。健康づくりイベントについてはより一層参加者を増やす方策を考えてもらいたい。

## 経営者会議

<b>経営者評価者</b>	<b>町長</b>	
<b>今後の方向性</b> <input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 現状のまま維持 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	<b>見直しの具体的内容</b> <input checked="" type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他	<b>評価</b> <b>B</b>

## 経営者会議の評価

健康アプリについては、アプリ開発後の施策について考えることが必要である。アプリをどのように健康増進に活かしていくべきかを考えること。また、久山レシピの開発についても、イベント時のみの提供に留まらず、久山町内の飲食店への展開も考えること。  
成果指標と活動指標について再度確認を行うこと。